

SAGA HERITAGE MANAGER

建物が結ぶ過去と未来

歴史ある建物の 保存と活用を 応援します。

私たちは、伝統建築を専門とする
「ヘリテージマネージャー」です。

（地域歴史文化遺産保全活用推進員）

こんな時は、

ヘリテージマネージャーへ

ご相談ください。

「古い建物について」

□ 補修・改修したい

□ 歴史的価値を知りたい

□ 活用してもらいたい

□ まちづくりに役立てたい

……など



教育

活用

保存

調査

相談

発見

地域のランドマークとして人々を見つめ、
私たちの暮らしの中に寄り添う、
日本の歴史ある建物。

そこには、風土に合った、

職人の知恵と工夫がまつまっています。

その美しさは多くの人を魅了し、

人々に豊かさを与え続けています。

これまで受け継いだ建物を

後世につないでいきませんか？

「伝統を大切に残す」

それは、未来への素敵な贈り物です。

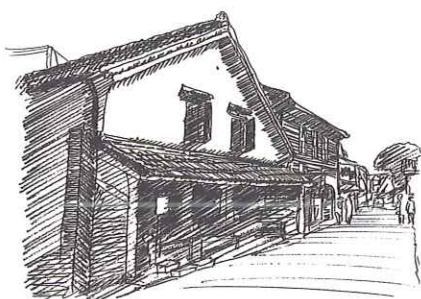
古い建物について気になることは、ぜひ

ヘリテージマネージャーへご相談ください。

（一社）佐賀県建築士会

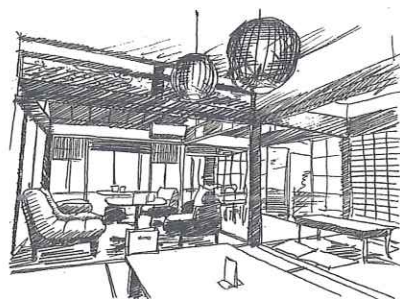
【佐賀県ヘリテージマネージャー協議会】

1995年に発生した阪神淡路大震災で身近な歴史ある建物がよくわからないままたくさん取り壊されてしまいました。これを教訓に、地域の建築文化を守るためには地元の建築士がもっと知識や技術を身につけるべきだと、全国の建築士会が中心となって伝統建築の専門家「ヘリテージマネージャー」の育成が進められてきました。現在では災害で被災した建物の調査や修理はもちろん、歴史的まちづくりの分野でも多くのヘリテージマネージャーが活躍しています。佐賀県建築士会では2014年から養成講習会を実施し、受講修了者が県内各地でさまざまな取り組みをおこなっています。



1 古い建物は、 まちの宝物です。

地域の景観の一部として古くから残る建物は、そこに住む人だけのものではなく、地域に住む人々の「ふるさと」の風景にもなっています。歴史ある建物を次世代に伝えていくことは、地域の財産を守ることもあります。



2 活かすための 方法があります。

古い建物の歴史ある雰囲気を活かしながら、現代の生活環境に合わせて住みやすくしたり、レストランやカフェ、宿泊施設など新たな使い方でも活用したり、地域の人々が集まれる場所にしてまちづくりに活かすなど、さまざまな事例があります。



3 保存・活用の 補助制度を利用。

登録文化財制度という国の制度があります。原則として建設後50年を経過した建物は、登録有形文化財として登録することができ、災害による破損に対して優先的に補助を受けて修理ができる場合があります。また、歴史的建造物の保存や活用を補助する制度をもつ自治体もあります。

ヘリテージマネージャーは日々、歴史ある建物を輝かせるための活動を行っています。

建物の価値を発信

小城市にある酒蔵跡の建物では、活用のアイデアを話し合うワークショップや、フォトコンテストなどを開催し、多くの人に歴史ある建物の良さを知ってもらう活動を行っています。



建物の調査や修理

唐津市の曳山通りに面する貴重な建物と、唐津街道の景観を後世へ継承するため、建物の詳細な調査や建物保全のための修理に取り組んでいます。



災害地での専門的支援

平成28年に発生した熊本地震では、歴史的建築物の被害状況調査を実施し、文化庁や地元の自治体と連携しながら、修理についての技術的アドバイスをしています。



お問い合わせ

佐賀県ヘリテージマネージャー協議会（佐賀県建築士会内）

〒840-0041 佐賀県佐賀市城内2丁目 2-37 佐賀県建設会館 3F

TEL.0952-26-2198